

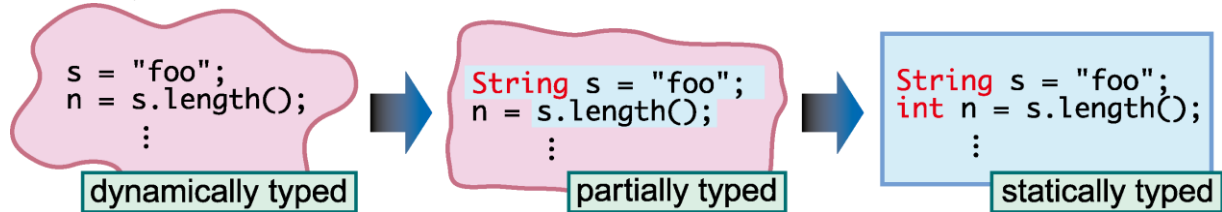
タイトル

## Javaのための漸進的型付け

Gradual Typing for Java

概要

静的型付言語は整合性を保ったソフトウェアの開発に広く用いられ、一方で動的型付言語は低コストかつ迅速なプロトタイプの開発を得意とする。漸進的型付けは、一つプログラミング言語で両方の型付方式を可能にする枠組みである。本研究は、ジェネリクスなどの型に関する複雑な言語機能を持つプログラミング言語における漸進的型付けの実現を目的とし、静的型部分の型安全性を数学的に証明し、実際の言語処理系を拡張する手法を提案する。



URL

産業界への展開例・適用分野

C# 4.0には既に動的型が導入されているが、ジェネリクスとの組み合わせには制限がある。本研究はJavaへの動的型導入だけでなく、C#におけるジェネリクスと動的型の柔軟な組み合わせを実現するための基礎理論としての利用も期待できる。

	氏名	専攻	研究室	役職 (学年)
展示担当者	伊奈 林太郎	知能情報学	佐藤・五十嵐研	博士 2年
	五十嵐 淳	知能情報学	佐藤・五十嵐研	准教授